

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第2校舎301
担 当 教 員	仲村 剛	実務経験と その関連資格	専科教員(平成20年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成24年)、鍼灸接骨院勤務(平成12年～平成26年:接骨院業務)			
《授業科目における学習内容》						
各関節の解剖学的構造を理解した後に、各骨折の発生についてを学びます。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
パソコン(パワーポイント・スピーカー)、各種計測機器 柔道整復学・理論編第7版および柔道整復学・実技編第2版						
《授業外における学習方法》						
講義の復習と次回講義の予習をすること						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復師の業務範囲である骨折ですが、徒手整復の対象外となることの多い部位となります。 しかし、スポーツ現場等で発生することも想定されますので、発生機序や処置法についてはしっかり理解しておく必要があります。また、国家試験にも頻出の部分となりますので、国家試験対策も含めての演習も並行して実施していきますので、復習を怠らないようにして下さい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢の解剖学構造を理解する	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	下肢の解剖学的特徴について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤骨骨折について理解する(1)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	骨盤骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨骨折について理解する(1)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨骨折について理解する(2)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨骨折について理解する(3)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること	
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	大腿骨骨折について理解する(4)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	大腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	膝蓋骨骨折について理解する	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	膝蓋骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨折について理解する(1)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨折について理解する(2)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨折について理解する(3)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨折について理解する(4)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	下腿骨骨折について理解する(5)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	下腿骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	足根骨骨折について理解する(1)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	足根骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	足根骨骨折について理解する(2)	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	講義の復習をすること
		各コマにおける授業予定	足根骨骨折についての概説、合併症、鑑別診断、整復法、固定法、後療法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ	柔道整復学・理論編第7版(南江堂) 柔道整復学・実技編第2版(南江堂)	後期講義の学生理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	後期全講義の学生理解度を確認する 国家試験問題演習		